



## いじめ防止シンボルマーク

東輝祭の午後の部で新旧生徒会本部役員の交代式が行われました。その場面の最後で、新たないじめ防止のシンボルマークが披露されました。

今週は人権週間であり、また、12月は県のいじめ防止強化月間ですが、子どもたちが自律的・自浄作用的に、よりよい雰囲気をつくってくれることを期待しています。



## 生徒自身のメッセージ

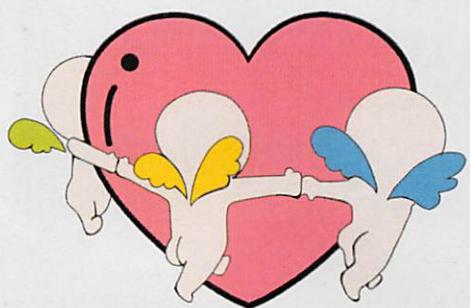
(東輝祭で全校に披露した際の言葉より)

それぞれの花びらの色には、意味が込められています。オレンジは「友達」緑は「家族」、黄色は「世界中の人々」、赤色は「自分」。その4色の花びらが1つの花になっていることで、様々な人々が共存し、支え合っていることを表しています。その共存の花の上に人が2人いて、立っている人に幸せパワーを送りたい、幸せの共有をしています。

そしてそこには、「友」という文字が書かれています。大東中の校歌には、「友」という言葉が、1番にも2番にも使われています。「友」という漢字は、元々手と手を取り合う形からできている象形文字です。つまり、手と手を取り合って助け合う人間関係のことを表す漢字です。だから、この文字を入れました。

友達の存在は、学校生活の中でとても大切な役割を果たしてくれます。辛いとき、悲しいとき、嬉しいとき、怒っているとき、様々な感情を共有することができます。そんな友達の支えがあるから、楽しい学校生活が送れるのだと思います。このいじめ防止シンボルマークは、大東中を「温かい人間関係に満ちた学校」にするためのシンボルです。

人に言われるからではなく、自分たちの手で、いじめのない学校にしていきましょう。  
今まで活用されていたいじめ防止のシンボルマークもありますが、大東中の先輩方も「いじめのない学校にしたい」という思いを抱いていました。その思いを受け継ぎ、「互いに支え合う、よりよい雰囲気に満ちた学校にしていきましょう。」



此卷之文，皆出其手。其文雄深，其思敏捷，其才藻富麗，其筆墨流利，無不令人贊嘆。其文章之體裁，或古雅，或樸實，或清秀，或雄偉，各具特色，無一雷同。其文之內容，則廣泛而深入，涉及社會、政治、經濟、文化、哲學、歷史、地理、文學、藝術等多方面，無不有精闢的見解和深刻的洞察力。其文之語言，則簡潔而明確，音韻而富於韻律感，讀來朗朗上口，易於記憶。其文之風格，則豪爽而雄健，溫厚而醇雅，圓熟而自然，無不令人心醉神迷。其文之藝術效果，則極為強烈，令人一讀再讀，百讀不厭。其文之傳播力，則極為廣泛，影響極為深遠，至今仍為學術研究者所重視。其文之價值，則極為寶貴，是中國文學寶庫中的一顆璀璨明珠，永垂不朽。